

3 研究のまとめ

(1) 成果

- 授業の質的改善を図っていく 1 年間の流れに沿って授業改善を行うことで、授業の質的改善が図られることが明らかになったと思います。
- 授業の質的改善が図られる過程で、自分が着眼した授業場面だけにとどまらず、実践者の授業を見る目自体が高まり、それが的確な手立てを講じることにつながり、結果、様々な角度から児童の資質・能力を伸ばすことにつながるということが明らかになったと思います。
- 平成 29 年度に実践した事象提示と結果をまとめる過程以外の学習過程について、実験方法の構想と振り返りのそれぞれの学習過程における授業の質的改善においても事例が追加され、実践の幅が広がりました。

(2) 課題

- 「不断の授業の見直し」という言葉で表現されることを踏まえると、授業の質的改善は、一朝一夕で果たされるものではありません。その考えを基に実践を行い、研究委員に関しては手ごたえを感じることができましたが、取組について「難しいものではないか」「複雑である」などの指摘があったことも事実です。授業をされる先生方が使いやすいように、対象や段階を絞って提案すると、よりよいものになるのではないかと思います。

(3) おわりに

本研究委員会は、小城市立三里小学校、唐津市立成和小学校において公開授業研究会を開催し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の考え方を基にした授業を公開しました。両校には、公開授業研究会の場を提供していただいたことに感謝申し上げます。また、授業を参観された先生方には、貴重な御意見、御感想を頂きました。本当にありがとうございました。先生方から頂いた御意見、御感想は、今後の研究に活かして参ります。

研究スタッフ一同、本研究が、先生方の一助になればと考えております。そして、児童の学びに還元していただければこれに勝る喜びはありません。